

こどもの居場所づくりに関する調査研究 第4回検討委員会	
2023年1月23日(月)	資料 1-2

内閣府ユース政策モニターを活用したこどもの居場所づくりに関する
こども・若者の意見について（報告）

内閣官房こども家庭庁設立準備室

<趣旨>

内閣官房では、こどもの居場所づくりに関して、様々な形でこどもや若者の意見を聴くため、内閣府において実施しているユース政策モニター（※）の枠組みを活用。

※ こども・若者に関する施策をより充実させるとともに、こども・若者の社会参加意識を高めるため、小学校5年生から20代の方を「ユース政策モニター」として公募し、社会の様々な課題について、どのように思っているか意見を募るもの。（子供・若者社会参画推進事業）

1. ユースラウンドテーブル（オンラインでの意見募集）

- （1）実施日：令和4年11月19日（土）
- （2）実施規模：ユース政策モニターに登録している者から公募。当日は小学校5年生～のこども・若者27名が6グループに分かれ、内閣官房職員とオンラインで意見交換。
- （3）実施内容：学校や家以外に、「居場所」と聞いて想像する場所や、その場所にいるとどんな気持ちになるかを意見交換し、もっとこんな居場所があったらいいなと思う場所について発表。
- （4）結果概要：2ページ目以降のとおり

2. ユース政策モニターに登録している者へのWEBアンケート

- （1）実施日：令和4年11月18日（月）～12月2日（金）
- （2）実施規模：ユース政策モニターに登録している1,575人に対して、アンケートを依頼。464件の回答を得られた。
- （3）実施内容：家（普段寝起きをしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に、「ここに居たい」と感じる居場所があるか。ある場合には、どのような場所か。ない、場合はどのような場所であれば、行ってみたいと思うか。についてアンケート。
- （4）結果概要：取りまとめ中

令和4年度子供・若者社会参画推進事業
第5回ユース・ラウンド・テーブルにおける実施結果について
(居場所関係抜粋)

グループワークで出された主な意見

小学生グループ

【学校や家以外に、「居場所」と聞いて想像する場所】

- ・公園。遊んだり、眺めたりできる。一人でも友達とも
- ・交流館（児童館・公民館）。本を読んだり友達と遊んだりする。1週間に3回くらい行く
- ・図書館。本を読んだり本を借りたりできる。週に1回行く
- ・友達の家

【その場所にいるとどんな気持ちになる？】

- ・本を読んでいると気持ちよくなる
- ・また来たくなる
- ・落ち着いてリラックスができる
- ・走ったりすると頭に酸素が入って気持ちよくなる
- ・自然を眺めると落ち着く
- ・楽しい

【もっとこんな居場所があったらいいなと思う場所】

- ・いろいろな人が集まる場所（色々な世代が集まる）
⇒年上・年下色々な人と交流できるといい
- ・いろんなスポーツができる体育館
⇒あるけど簡単には行けない。お金がかかる
- ・図書館。近くにあるのは大きいけど、こどものコーナーが少ない。幅広い本があって、図書館の隣でキッズシアターのようにお仕事体験ができるといい
- ・ゲームができる場所（室内で）があるといい
- ・思いっきりボールが蹴れる場所
⇒公園は壁に当たたらだめなど制限が多いから

中学生グループ①

【学校や家以外に、「居場所」と聞いて想像する場所】

- ・図書館、塾の自習室、教会、カラオケ

【その場所にいるとどんな気持ちになる？】

- ・勉強をやろうという前向きな気持ちになる
- ・周りの勉強している子たちを見てやる気が出る
- ・お菓子がもらえたり教会の人と話せたりして楽しい
- ・楽しい。ストレス発散になる。もっと歌いたくて帰りたくない

【もっとこんな居場所があったらいいなと思う場所】

- ・ゆっくり漫画を読んだり、友達とゲームをしたりできる場所があるといい
→ゆっくりできて安心する
- ・同じ趣味を持った子としゃべることができる場があるといい
→同じ趣味を持っている子とお話することで、話題が尽きず、楽しい気持ちになる
- ・図書館の読書灯が点々としていて暗いので、明るくなると勉強しやすい
→勉強がはかどる。集中できる
- ・家でできないような楽器を気軽に習えるような場所があるといい
→気軽に始められるので新しいことにチャレンジしやすい
- ・家の近くにショッピングモールがあると行きやすい
→放課後に遊べる場所があると思うと、学校生活も楽しくなる
- ・学校の校則でSNSの利用が禁止されていて、ネットで同じ趣味の友達は作れないので、現実世界にそういう場があればうれしい

中学生グループ②

【学校や家以外に、「居場所」と聞いて想像する場所】

- ・遊べる公園、放課後等デイサービス、スイミング・習い事、部活
- ・生徒数の少ない学校に通っている。部活の吹奏楽は楽しい。習字の習い事や塾には同い年の子がいて、安心できる
- ・仲のいい人といるとき。特定の場所じゃない。学校とか友達の家とか、オンラインでも、知っている人がいると安心できる今日はみんな初対面：ちょっと緊張
- ・フォートナイトなどのオンラインで友達と遊べるゲーム
- ・無登校、フリースクールに小学3年生からいる
- ・放課後等デイサービス：障害を持った子どもたちが放課後に過ごすことができる居場所

【その場所にいるとどんな気持ちになる？】

- ・楽しい
- ・安心できる
- ・言いたいことがすぐ言える
- ・その場所だからこそその友達がいる
- ・フリースクール：子どもの意見を大事にしている。子どもがいろいろ決めている。言いたいことをすぐ言えるから楽。他の場所、小学校ではみんなに流されることがあった
- ・学校の先生には言いにくいことがある
- ・学校：かしこまった場所、友達と一緒にだと他愛ない話ができる。初対面だとしにくい。楽に過ごせる
- ・仲の良い人：気を遣わないで話せる

【もっとこんな居場所があったらいいなと思う場所】

- ・不登校の子：保健室登校。友達に会うのも保健室に行かなければいけない。カウンセリングルームなど、先生以外の第三者がいて、間に入ってくれる人がいると良い。保健室：本当は風邪やけがの人がいくところでは。かわいそうだと思う。保健室には行くが、行きづらい。今のカウンセラーは毎日いるわけではなくて利用しにくい
- ・自分の家の近くにも子ども食堂が欲しい。学校：規律がある場所、過ごしにくい。子ども食堂は絶対に行かなければいけない場所ではない。いろんな人が交わる場所。いろんな意見が飛び交う。食事をしながら笑顔になれる。農家の方とも協力して、地産地消。そんな場所があると良い
- ・地方：子どもが減っている。空き教室がある。自由に使えるようになると良い。今は空いていても自由に入れないうし、先生が管理していたりする
- ・今は思いつかない

高校生グループ

【学校や家以外に、「居場所」と聞いて想像する場所】

- ・図書館（自分と同じような人がいて安らぐ）
- ・地域の施設（公民館）で地域の人と話す、学校以外の人と話す地域センター（支所）（新たな発見がある、新たな意見を聞ける）
- ・図書館（自習室がついている、自由な時間に勉強できる、他の人ががんばっている姿を見て元気をもらう）
- ・地域センター（小学生がメイン、高校生が小学生に勉強を教える、職員も教えている、学校後に立ち寄れる場所）（楽しかった、同年代のこどもたち、おもちゃ、本もある）
- ・公園（小学生では体を動かしてすっきりする、友達と遊べて楽しい）

【もっとこんな居場所があったらいいなと思う場所】

- ・駄菓子屋さん（公園で不審者が出るかもしれない。限られたお金で、同年代のこどもたちが集まってコミュニティが広がる。）
- ・先輩後輩のつながりが途絶えてしまうので、教え合うことから少し上か少し下の年代の人たちと繋がれるとよい
- ・他人とコミュニケーションをとる（話す）のが難しい子でも安心できる場所があるとよい。年配・高齢者・退職者の人たちにカウンセラーのように対応してもらうなど
- ・図書館に自習室を作ってほしい・席を増やしてほしい

高校生・大学生等グループ

【学校や家以外に、「居場所」と聞いて想像する場所】

- ・習い事の場所、公園、公民館（子供会）
- ・Twitter など SNS
- ・図書館
- ・オンラインイベント
- ・子ども食堂、福祉センター
- ・意見の合う人のいる場所
- ・新しい人間関係が生まれる場所、新たに自分を表現できる場所
- ・自分が受け入れられる場所

【その場所にいるとどんな気持ちになる？】

- ・受け入れてもらえる、安心できる
- ・つながりを感じられる
- ・共通の話題、親近感
- ・つらいことがあっても、慰めてもらえる、いてもいいんだという気持ち
- ・いろんな価値観を共有することで、頑張ろうという気持ちになれる
- ・孤独感を払しょくできる、充実感
- ・水族館→新しいことを学べる
- ・好きな本に囲まれていられる、新しい発見がある

【もっとこんな居場所があったらいいなと思う場所】

- ・高校生の居場所はあまり聞かない。受験などで苦しい思いをしている人が安心していられる場所
- ・人口が少ない地域では高校生の居場所はより少ない
- ・習い事など、いろいろな年代の人がいて新たな発見がある場所
- ・自分から行かなくても、手を差し伸べてもらえる場所
- ・高校生が運営するたまり場。いろいろな世代が集まる場所

大学生・社会人等グループ

【学校や家以外に、「居場所」と聞いて想像する場所】

- ・地域の図書館
- ・スポーツ少年団、スイミングスクール、塾。(かかわりが違う人)
- ・誰ともかかわらない場所
- ・ネット上の場、ゲーム、チャット、SNS
- ・地域が居場所
- ・集中できる時間
- ・お寺など宗教的な場
- ・スポーツ少年団などタテや斜めの関係のある場
- ・面と向かって話しにくいが誰かと話せる

【その場所にいるとどんな気持ちになる？】

- ・図書館(色んなことをしていた。本は当然、映画も。課題もやっていた。気楽に色々できた。)
- ・何か過ごしにくくなっても、別のコミュニティがあると気分転換
- ・自分一人だけで邪魔されずに好きなことができる
- ・自分をさらけ出せる。気楽に話せる
- ・わずらわしさもありながら、お付き合い、行事、助けてくれるし安心感ある
- ・何かをやっているときに居場所という感覚があった
- ・干渉してほしいというわけでもないが、周りに信用できる人間がいる場は大事

【もっとこんな居場所があったらいいなと思う場所】

- ・ほっとしてもらえる場、出入り自由もOK。否定されない場
- ・無料で、気軽に利用できる。気軽にコミュニティに入れる。かつ、学校から遠い
- ・仮想的な場、申請や審査がない。児童相談所等ともぱっと見は関係ない
- ・遊びができる、見守ってくれる大人がいつつ、干渉しない
- ・生涯学習の場(博物館、美術館、図書館) こういうところで自由に過ごせるところがいい